

6 わが家の安全対策

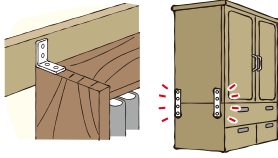
建物の耐震対策も重要ですが、家の中の地震対策は手軽にできる上に効果はバツグンです。

まず第一に家具の転倒や落下を防ぐこと、そして逃げ場になる安全な空間をつくっておくことがポイントです。**※塀の防災対策も忘れないでネ!!**

家具とその上

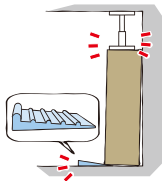
●金具の利用

背の高い家具は、L字型金具で固定。
2段・3段重ねの家具は、特に倒れやすいので、平型金具で連結します。



●転倒防止器具の利用

天井との間につっぱり棒をつける。また、下に転倒防止板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定します。



●家具の上

家具の上にガラスケースなどの割れやすいものは置かないようにしましょう。

窓

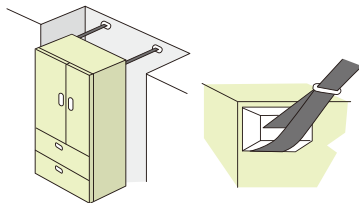
- 逃げ道を確保するとき、すぐに開けられるようにしておきましょう。
- ガラスは飛散防止フィルムを貼るか、網入りガラスにしておくとう安心です。

バルコニーやベランダ

植木鉢や物干しなど落下の危険が高いものは、落下防止策を取りましょう。

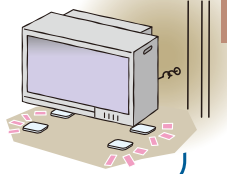
冷蔵庫

専用の転倒防止用ベルトで固定します。買ったお店やメーカーに問い合わせましょう。



テレビ

テレビは家具の上など、高い位置に置かないこと。また、壁面に固定したり、市販の耐震粘着マットを利用します。



額縁

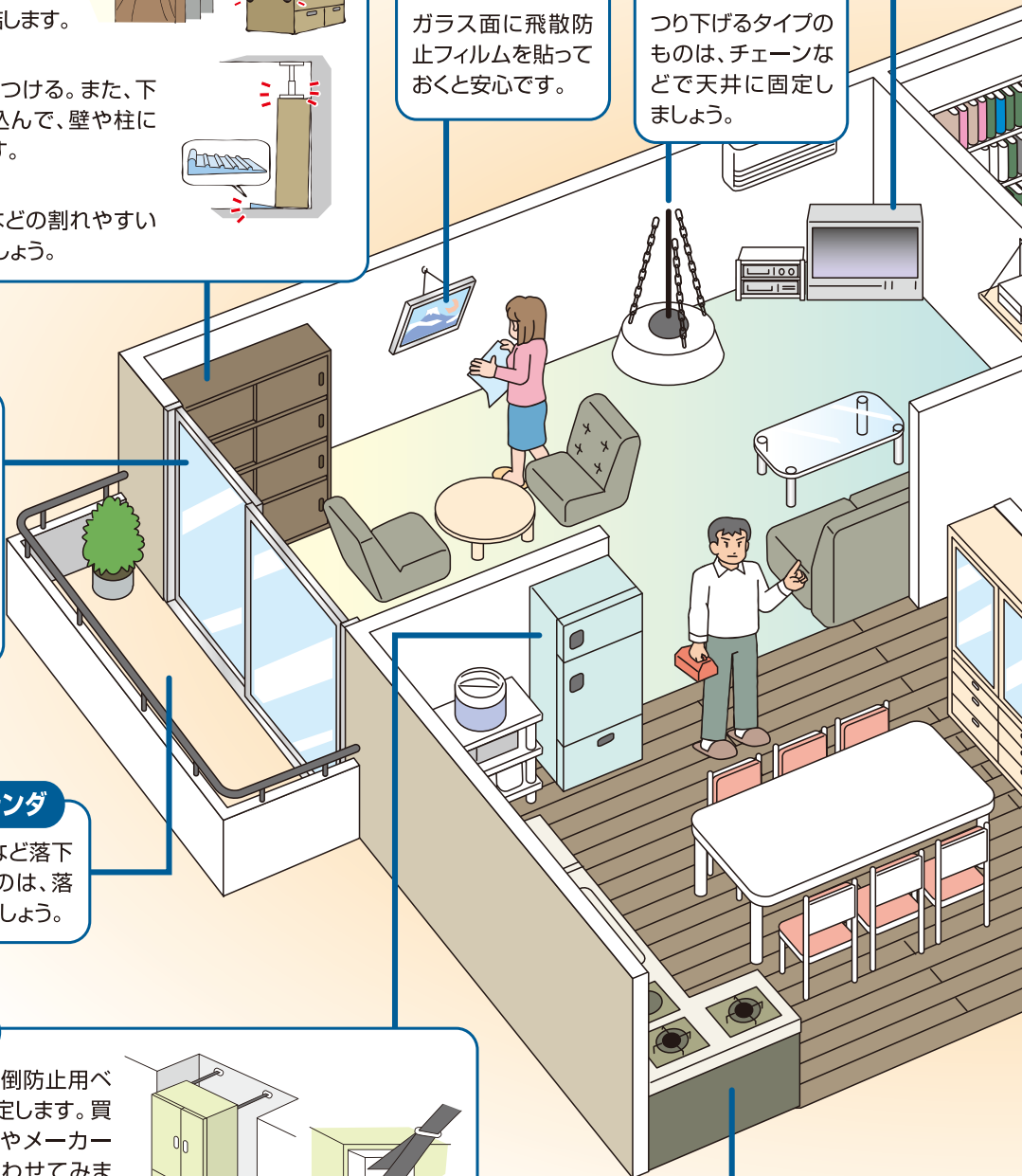
ガラス面に飛散防止フィルムを貼っておくと安心です。

照明器具

つり下げるタイプのは、チェーンなどで天井に固定しましょう。

台所

火元の近くにフキンや油など、燃えやすいものを置かないようにしましょう。



つり棚

重いものは下の棚に移し、落ちて
も大丈夫なものだけにしましょう。

ピアノ

専用の転倒防止金具や滑り
止めをつけておきましょう。

寝室

子どもやお年寄り、病人のいる
寝室には、なるべく背の高い家
具を置かないようにしましょう。

玄関周り

玄関や縁側など外への
避難路になるところは、
通路に家具や物を置か
ないようにしてスペース
を確保しておきましょう。

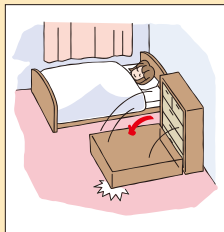


家の中に逃げ場となる安全なスペースがありますか。

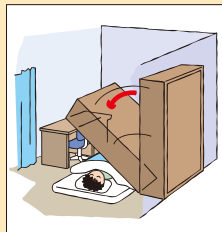
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめ、
広く安全な空間ができるように配置換えをしておくとお心です。

就寝場所や避難路を考えていますか。

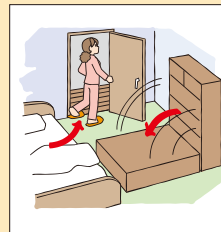
寝室や出入口付近で家具の固定ができない場合には…



就寝位置は転倒方向と
重ならないように



家具の転倒範囲内に
机などを置く



家具が倒れても
ドアが開くように

お年寄りや子どもが逃げ遅れないように考えていますか。

就寝中に地震に襲われると、子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる
可能性があります。なるべく避難しやすい部屋に移り、背の高い家具など
は置かないようにしましょう。

食器棚

ガラスが割れ、中のものが飛び
出してきます。金具はL字型金
具で壁に固定し、開き戸には止
め金具をつけましょう。また、中
の食器の滑り止めにタオルなど
を敷きます。

